

2016年 中期経営計画「Value for Tomorrow」 ～価値ある提案を明日に向けて～

当行では、2016年4月から2019年3月までの3年間の計画期間とする『2016年 中期経営計画「Value for Tomorrow」～価値ある提案を明日に向けて～』を推進しております。

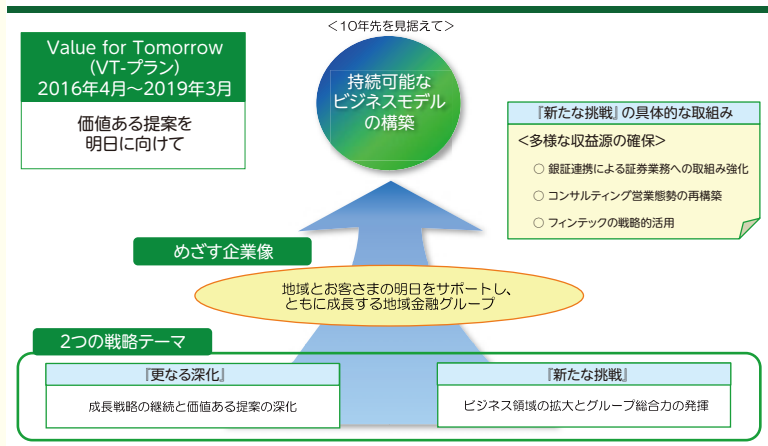
●考え方について

本計画では、「価値ある提案」のコンセプトを継承し、更に磨きをかけることで、地域金融グループとして地域活性化に貢献していくことを主眼におきます。同時に、より多くの収益機会の取り込みを図ることで、将来に向けて持続可能なビジネスモデルの構築をめざし、競争力の強化に努めていきます。

●めざす企業像について

「地域とお客さまの明日をサポートし、ともに成長する地域金融グループ」

戦略の方向性



●基本方針

基本方針

地域創生に向けた積極的な取組み

地方版総合戦略の実施支援等による「地域創生」への積極的な参画や、企業サポートの充実等を通じた地域経済活性化への取組みにより、地域の期待に応えていきます。

価値ある提案の追求と収益力の強化

お客さまとのリレーションに基づき、お客さま基点のコンサルティング営業を実践していきます。また、重点分野における態勢強化やフィンテックの活用等により、金融ソリューションの充実と利便性向上に努め、貸出運用力の強化とフィービジネスの増強を図ります。

経営基盤の強化とグループ総合力の発揮

業務効率化を推進し、ガバナンス態勢など内部管理態勢の高度化に努めることで、幅広い金融サービス提供に向けた経営基盤の強化を図ります。また、グループ会社と連携し各社の機能を最大限に発揮することで、グループ一体となり企業価値向上に取り組めます。

働き方改革と一人ひとりの活躍支援

ワークライフバランスの実現に向けた働き方改革、多様な人材の活躍促進、専門人材の育成と活用を通じて、一人ひとりが主体性を持って前向きに働く、活力ある組織風土の醸成に努めます。

めざす企業像の実現に向けて



●計画最終年度（2019年3月期）における計数目標

成長性指標	リテール貸出末残	43,500億円	効率性指標	OHR（連結）	65%程度
収益性指標	非金利業務利益（連結）	180億円	健全性指標	普通株式等Tier1比率（連結）	12%台
	当期純利益（連結）	280億円			
	ROE（連結）	5%台			